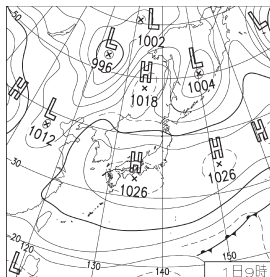


日々の天気図

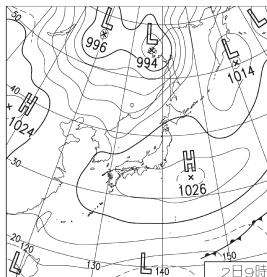
— No. 88

2009年5月

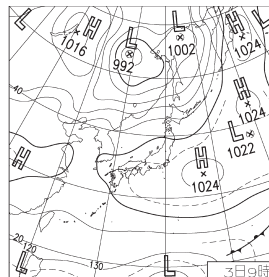
- ・西日本と東日本日本海側で少雨, 西日本太平洋側で5月の月降水量としては最も少ない記録を更新。
- ・17日~19日, 前線の影響で沖縄県竹富町上原74.5mm/1h, 与那国空港71.5mm/1hの大雨。
- ・28日, 低気圧の影響で東京都八丈島西見247.5mmの日降水量。(気象庁予報部予報課)



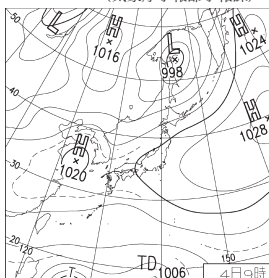
1日(金)連休の谷間も晴れ続く
日本付近は先月末に引き続き高気圧に広く覆われ, 晴天が続く。広範囲で乾燥注意発表表。北日本と山沿いで早朝は氷点下。札幌市, 帯広市でサクラ開花, 函館市で満開。



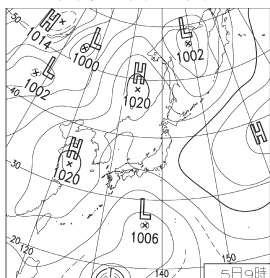
2日(土)八十八夜の別れ霜
日本付近は高気圧に覆われ, 沖縄を除き乾燥した晴天が続く。北海道や本州の内陸は放射冷却により早朝は氷点下, 関東以北の内陸で最高気温が6月上旬~7月中旬並となる。



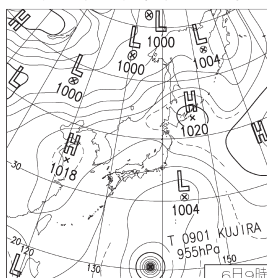
3日(日)台風第1, 2号発生
沖縄を除き, 帯状の雲に覆われ, 午前中, 西~東日本を中心に晴れ間もあるが概ね曇り。一部でわか雨, フィリピンの東で台風第1号, 南シナ海で第2号発生。



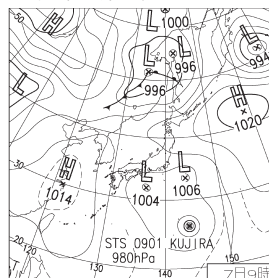
4日(月)北海道は夏日
日本付近は気圧の谷。本州中心に雲が多く, 九州は夜まで雨が続き, 北海道は終日晴れて, 北見市高栄東町は全国で一番高い26.7℃。網走市でサクラ開花の他, 道内で続く満開に。



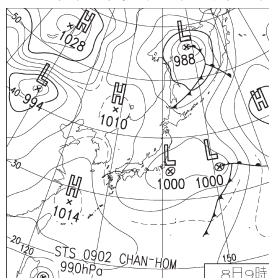
5日(火)深い気圧の谷
日本付近は深い気圧の谷に入り, 南海上からの湿った空気の影響で四国~関東の太平洋側で雨, 九州~中国の山沿いでは上空に寒気が入り, 大気の状態が不安定となり雷雨の所も。



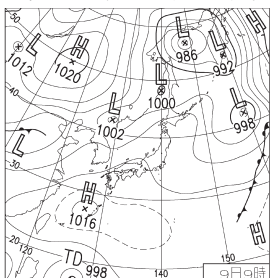
6日(水)連休最終日は天気二分
上空の気圧の谷の動きが遅く, 近畿~東日本は終日曇りや雨。一方, 北日本や九州以南は日射しに恵まれ, 秋田県仙北市角館で最高気温が7月下旬並の28.2℃。



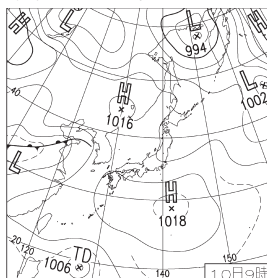
7日(木)北海道で真夏並の気温
四国付近の上空の気圧の谷は, ゆっくり東進, 西日本~関東は, 雨が降ったり止んだりの天気, 北海道では気温が上がリ, 遠軽町東町では季節はずれの31.4℃を記録。



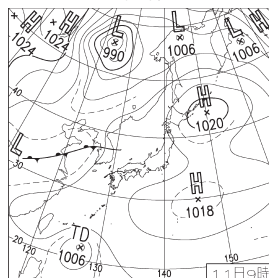
8日(金)関東は4日連続の雨
近畿~東日本にかけて曇りや雨で, 関東は4日連続の雨となり一部で雷も。その他は概ね晴れ。九州南部では真夏日の所も。台風第1号は温帯低気圧に。



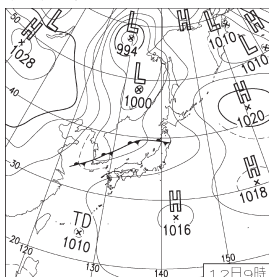
9日(土)一週間ぶりの全国晴天
日本列島は午前を中心に広く晴れて, 西日本の内陸部は真夏日。島根県津和野町, 広島県安芸太田町で最高気温32.8℃。北海道は夕方から雨や曇り, 台風第2号は熱帯低気圧に。



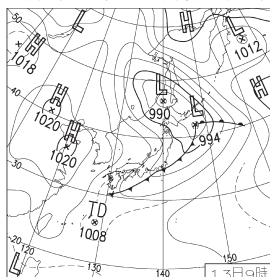
10日(日)各地で真夏日
日本の南海上の高気圧に覆われた西~東日本では晴れて気温が上昇。各地で真夏日となり, 最高気温が5月の観測史上最高の気温となった所が全国で45地点も。



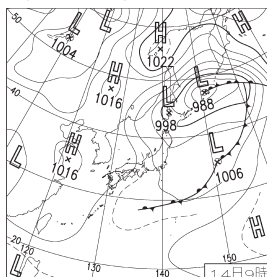
11日(月)西日本で今日も真夏日
西日本は引き続き日本の南海上の高気圧に覆われ, 晴れて各地で真夏日。東~北日本は気圧の谷の影響で曇が多く, 北日本の一部では雨, 暑さは一服。



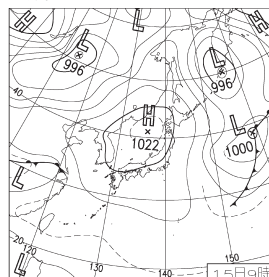
12日(火)東海以西で真夏日
前線や気圧の谷の影響で, 北陸, 関東~北海道太平洋側は曇り所々雨, 夜には中国まで雨。高気圧に覆われた東海以西は日中晴れて暑く, 大分県佐伯市宇目で最高気温33.3℃。



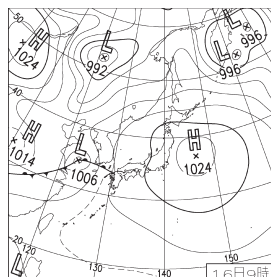
13日(水)寒冷前線, 列島を通過
寒冷前線が日本列島を通過し昨日まで続いた真夏並の暑さは一段落。最高気温は北~西日本の日本海側で4月下旬並, その他は暖気が残り5月下旬~6月下旬並, 水戸市でひょう。



14日(木)冬のような天気分布
西高東低の気圧配置。寒気の影響で北日本中心に雨や雷雨となり, 北海道は一部で積雪。北西風が強く, 栃木県那須町で最大瞬間風速36.4m/s, 青森市でひょう, 西~東日本は晴天。

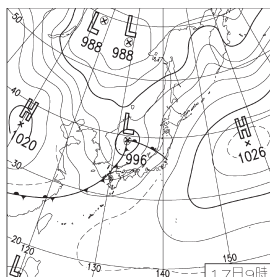


15日(金)さわやかな天気
高気圧に覆われた西~北日本にかけてさわやかな晴れの天気, 寒気が残った北海道では気温が下がり, 天塩町では最低気温が-5.7℃と5月の観測史上最低を更新。



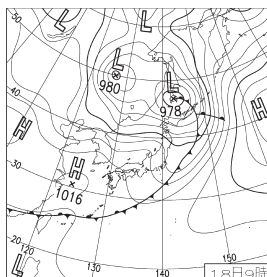
16日(土)東海を中心に雨

昨日まで日本を覆っていた高気圧は日本の東海上に移動し、南から暖かく湿った空気が入り、東海を中心に雨。夜には西～東日本の広範囲に拡大。北海道根室市でクラ満開。



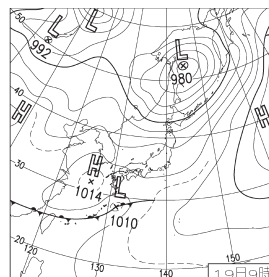
17日(日)低気圧と前線

発達中の低気圧が日本海を北東進。北海道北部を除き全国的に雨。低気圧からのびる前線の通過に伴い沖縄県与那国空港で71.5 mm/1 h、和歌山市友ヶ島で最大風速21.6 m/s。



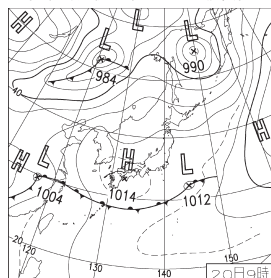
18日(月)沖縄、奄美梅雨入り発表

発達した低気圧がオホーツク海を北上。北日本では西よりの風が強くなり、午前中まで雨や曇りで午後から晴れ間も。西～東日本では日中は概ね晴れ。南西諸島は曇りや雨。



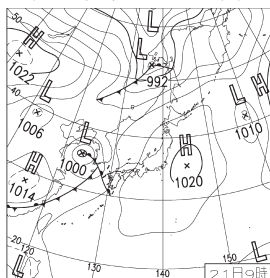
19日(火)太平洋側は雲の帯

本州の日本海側や北日本は晴れて昇温する一方、太平洋側は厚い帯状の雲がかかり、関東は日中曇り。先島諸島近海は前線の活動が活発。沖縄県竹富町上原で74.5 mm/1 hの雨。



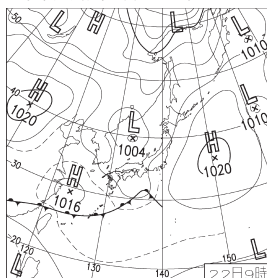
20日(水)西から天気は下り坂

移動性高気圧に覆われて、西～北日本の広い範囲で晴れて気温も上がり所々で真夏日。高気圧の縁にあたる九州は曇り。沖縄は梅雨前線の影響で雨。



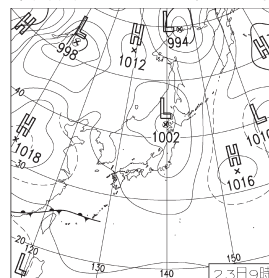
21日(木)九州を中心に荒れ模様

黄海の低気圧からのびる前線の影響で、九州では激しい雨。愛媛県伊方町瀬戸で最大風速22.3 m/s。北～東日本では晴れて気温が上がり札幌では最高気温28.4℃、今年最初の夏日。



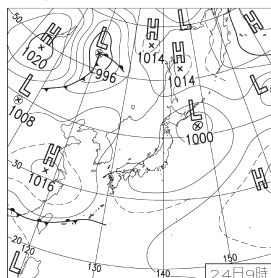
22日(金)動きの遅い気圧の谷

日本付近は深い気圧の谷の中。東シナ海の高気圧が東に移動し、九州では雨から夜には晴れ。その他の地方では気圧の谷の動きが遅く、終日曇りや雨。



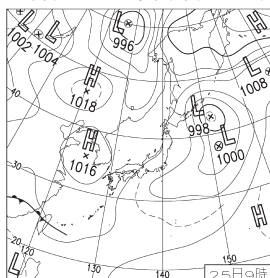
23日(土)沖縄、奄美梅雨の晴れ間

北日本は、低気圧の影響で雨か曇り。南西諸島～東日本は、西から高気圧が張り出し概ね晴れたが、最高気温が7月並に高かった関東は、南部で夜にわか雨。



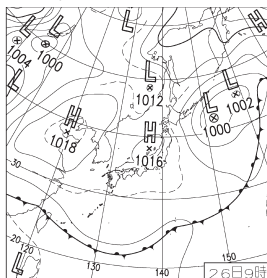
24日(日)広い範囲で雷雨

本州の上空を強い寒気が通過し、大気の状態が不安定。午後は西日本、夕方～夜は東日本中心に激しい雨や雷雨。東京都千代田区で40 mm/1 h、神戸市では落雷による人的被害。



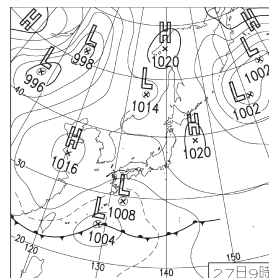
25日(月)天気は次第に回復

北海道では、動きの遅い低気圧の影響で、強風が持続。昨日、関東に大雨を降らせた上空の強い寒気は、日本の南海上に南下し、西～東日本の天気は次第に回復。



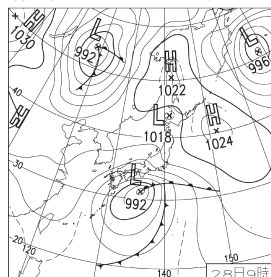
26日(火)南西諸島、九州で雨

本州は日本付近を移動する高気圧に広く覆われ、さわやかに晴れた。気圧の谷の影響で南西諸島、九州では短時間に激しい雨。沖縄県与那国空港で36 mm/1 h。



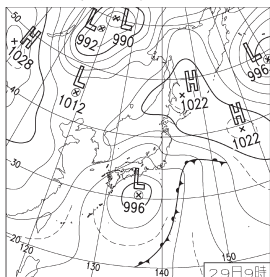
27日(水)本州日本海側で雷雨

高気圧に覆われた本州は晴れて最高気温が6月上旬～7月中旬並。上空寒気の影響で北陸～甲信の広範囲で雷雨。また九州、四国も雨で最高気温が4月上旬～下旬並と低い所も。



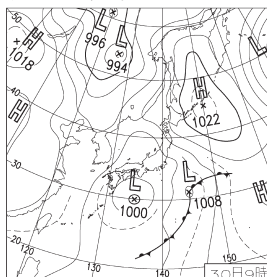
28日(木)動きの遅い低気圧

西日本太平洋側～東海、伊豆諸島にかけて暴風や大雨。鹿児島県屋久島町小瀬田で最大風速23.5 m/s、東京都八丈島西見で日降水量247.5 mmとなり、5月の極値を更新。



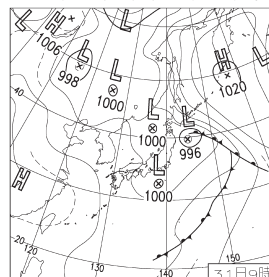
29日(金)関東で気温上がりず

低気圧が四国の南海上で停滞、西日本は晴れ間も出て、最高気温は平年を上回った。その他は曇りや関東では雨の所もあり、最高気温は4月下旬並と肌寒い一日。



30日(土)各地で不安定

引き続き日本の南海上には低気圧が停滞し、全国的に曇りや雨。暖かく湿った空気が流れ込んだ西～東日本の所々で雷を伴った激しい雨。兵庫県篠山市後川で36 mm/1 h。



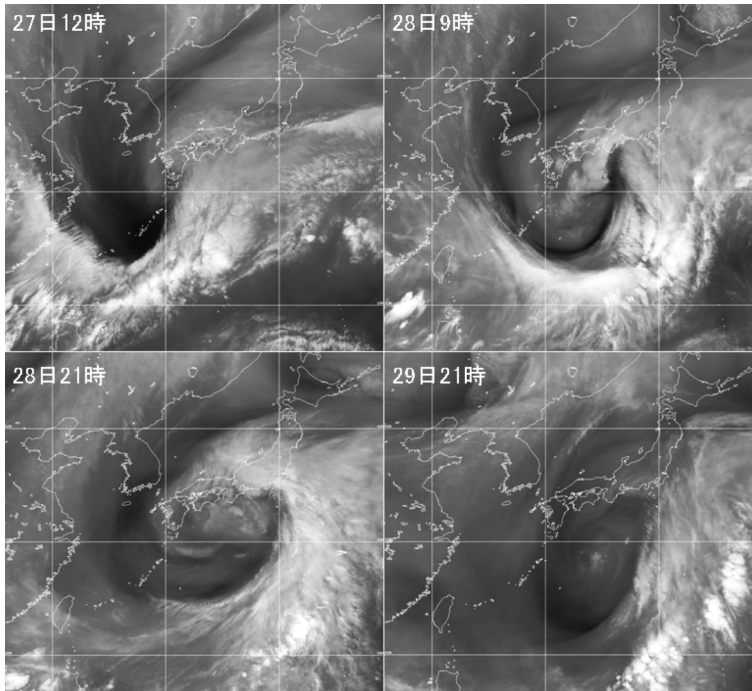
31日(日)東～北日本は雨

低気圧や気圧の谷がゆっくり東進。このため東～北日本では雨で所々雷を伴う。一方西日本は西から高気圧が張り出し晴れ。日本海には広範囲に霧。



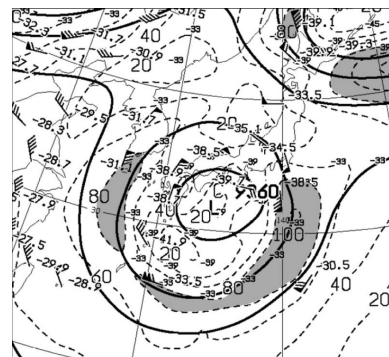
今月のひまわり画像—2009年5月

上層寒冷低気圧とジェット気流



第1図 5月27日～29日の日本付近の水蒸気画像（時刻は日本時間）。

5月27日から30日にかけて、上層寒冷低気圧が西日本の上空にほぼ停滞した。第1図は、27日～29日の水蒸気画像である。水蒸気画像では、これを動画として見るにより、雲がない領域でも上・中層付近の大気の流れが把握できる。また、水蒸気画像では上・中層付近における水蒸気が多寡が明～暗で表現されており、気団の境目となる明域（湿潤域）と暗域（乾燥域）の境界にジェット気流が存在することが多い。第1図を見ると、上層寒冷低気圧の中心が九州の南から四国の南をゆっくりと移動しており、その周りを明域と暗域の境界が大きな円弧を描いている。28日9時の300 hPa 高層天気図（第2図）によれば、上層寒冷低気圧の周囲には風速80 kt（1 kt=0.51 m/s）以上の強風帯があり、第1図の大きな円弧を描く明・暗域の境界がジェット気流に対応していることが示される。また、低気圧の中心付近には -39°C 以下の寒気を伴っていることがわかる。この様な低気圧は、大陸から日本付近に寒気が南下する春先から初夏にかけてしばしば見られ、時に悪天をもたらす。今回の上層寒冷低気圧周辺では、異なる2つの気団間にあるジェット前線面、さらにジェット圏界面側などで風向・風速差が大



第2図 5月28日9時の300 hPa 高層天気図。図中の灰色域は、風速80 kt以上の強風帯。

きく、連日、北日本から西日本の広範囲にわたり多くの並以上の乱気流が報告された。特に、28日には統計のある2001年以降、最多の報告数386を記録した。

（気象庁予報部予報課航空予報室 大野滋規）